

校長室だより (No. 4) 令和7年 10月31日 (金)

～「いつまでも聞いていたい…」と思う音楽会になりました～



合唱団の子どもたちの「さあ、はじめよう！」からスタートした音楽会。

- ・1年生の合奏。「きらきら星変奏曲」では、全員の息の合った演奏ができていました。演奏中に自分の使う楽器をタイミングよく動いて切り替える姿にも成長を感じることができました。

齊唱「友だちになろうよ」では、



体全部を使って元気よく友達と共に楽しそうに歌う姿があり、会場を温かい雰囲気で包み込んでくれました。

- ・2年生の合奏「あんたがたどこさ」。鍵盤ハーモニカのきれいな二重奏で、前奏を自分たちで演奏してからの歌い出しが素敵でした。子どもたちが「あんたがたどこさ」の「さ」に力を入れて歌う様子に、聴かせてもらっている私たちも力が入りました。入るリズム遊びを取り入れた合奏から、透き通ったきれいな歌声まで、心を一つに取り組むことができました。

齊唱「少年少女冒険隊」では、ジャングルの中をどんどん進んでいく様子を体全体で表現することができました。

- ・3年生のリコーダー奏「神戸山の動物たち」。3年生の合奏は創作曲でしたが、グループごとに分かれて、神戸山に住む動物や四季の様子をリコーダーの二重奏で、きれいな音色で表現することができました。3年生。神戸山を舞台として、様々な動物の様子を初めてのリコーダーで表現することができました。また、透き通るような歌声での合唱もとてもよかったです。
- ・4年生、1組のリコーダー奏「満点の夜空」、「カントリーロード」では、アルトリコーダーを使った二重奏で、とてもきれいな音色でした。また、2組の合奏「ホールニューワールド」では、息の合った演奏で、映画のシーンが次々と頭の中に浮かんできました。



合唱「しあわせになあれ」は、優しく透きとおった歌声で、高音部・低音部共にしっかりと表現することができました。

- ・5年生の合奏は「情熱大陸」でした。出だしから軽快なリズム、そして迫力ある演奏で、聴いている私たちも、心にパワーをいただくことができました。

合唱「大切なもの」では、歌詞にこめられた意味をしっかりと歌声に表すことができている、とてもきれいな歌声でした。

- ・6年生の合唱「超えてゆけ」。出だしの部分を力強く歌い出すことができました。仲間と共に新しい一步を踏み出していきたい、という気持ちを歌声に表すことができたように思います。合奏「木星」では、地球を出た宇宙船が、暗く広大な宇宙空間の中を突き進み、大きな木星にたどり着く様子をしっかりと表現できる演奏でした。一人ひとりが自信を持って演奏に取り組んでいる姿がとても印象的でした。

◆音楽会当日は、たくさんの保護者の皆様から、温かい拍手をいただくことができました。ありがとうございました。子どもたちと担任の先生が一体となり、学級として素晴らしい力を発揮できた音楽会。あらためて、四賀小の子どもたちの持っているパワーを感じることができた時間になりました。